

取組みの主な進捗状況

生活のDX

地域通貨で移住マッチング支援を開始！



県では、令和6年8月から移住希望者が、移住サポーター等への相談や現地案内などを通じて、実際に移住が成就した場合、移住者・移住サポーター等双方にデジタル地域通貨「はぴコイン」を進呈する制度を開始しました。
全国初の本取組みを通じて、新たに移住者を招致するといった「人が人を呼ぶ移住」を広げていきます。

未来技術活用プロジェクト6件を採択

民間事業者の先進的な技術やサービスを活用して地域課題を解決する「未来技術活用プロジェクト」にて、6件の事業を採択しました。

システムを活用したCO₂排出量の見える化や、住民の意見募集プラットフォーム等の実証を行い、3月に成果をご報告します。



産業のDX

先進的観光DX推進事業が始動！



県と県観光連盟が参画する「北陸インバウンド観光DX推進事業」が、観光庁の令和6年度「観光DXによる地域経済活性化に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業」に採択されました。
アンケート等を通じて、北陸3県のインバウンドに係るデータを取得・オープンデータ化します。
また、地域事業者・行政・DMO等がデータを活用し、北陸エリアで一体となったインバウンド観光の振興を促進します。

クマンドウデジタルライブ2024が開催

ふくい産業支援センターは令和6年9月に、デジタル化の“いま”を紹介する37種のイベントを開催しました。新たなビジネスのヒントや、デジタルツールを楽しむ体験でき、2000人以上が来場しました。
今後もDX推進に向けて、様々なイベントを実施していきます。



行政のDX

第2回福井DX体験会を開催



令和6年3月に第1回を開催し好評だった、最新のデジタル技術・サービスの体験会の第2弾を県庁で開催しました。
インフラ保全のためのAI診断など、行政の効率化や県民の利便性向上につながるサービスが展示され、多くの職員が参加しました。
今後も行政のDX推進に努めます。

電子契約が来年から始まります！

県では、令和7年4月から、電子契約サービスを導入する予定です。インターネット上の操作で契約が完結し、契約手続における事業者の利便性向上と業務効率化を図ることができます。
電子契約で更なる行政のDXを進めていきます。



最近の県内の動き

（株）ふくいのデジタルと連携協定を締結！

県では、令和6年7月、株式会社ふくいのデジタルと県内のDX推進に関する連携協定を締結しました。デジタル技術を活用してDXを推進し、地域課題の解決と新たな価値創造、地方創生を目指します。
この協定に基づき、はぴコインの常時チャージのサービスを開始しました。
また、自治体だけでなく民間でもはぴコインを活用し、県内を盛り上げていきます。



鯖江市オープンデータダッシュボードを公開

鯖江市では、全国に先駆けて2012年から行政が保有するデータのオープンデータ化を進めており、現在では242種類のデータを公開しています。この度、オープンデータ作成の自動化、利用の手軽さを追求するために、「鯖江市オープンデータダッシュボード」を作成しました。
見える化されたオープンデータを市の施策立案や市民活動に活かし、よりよい鯖江市を目指します。



デジタルアーカイブ福井が受賞しました！

令和6年8月に開催された「デジタルアーカイブフェス2024」において、県文書館・県立図書館・県ふるさと文学館が運用する「デジタルアーカイブ福井」が、「デジタルアーカイブジャパン・アワード2024」を受賞しました。県内12機関の所蔵資料を公開する「地域のつなぎ役」としての取り組みや、学校教育における活用促進などが評価されました。
今後も更なる充実を目指します。

